

路地百選推薦書【No. 2 1 1】

推薦者氏名：鈴木 隆男

推薦する路地（のまち）の名称	文化横丁「ぶんよこ」
所在地	仙台市青葉区一番町 2

【推薦する理由（路地のよいところ）】

仙台駅前から名掛丁商店街、クリスロードを通り、東 2 丁目通りの交差点を渡り、マーブルロード商店街の藤崎デパート左に曲がり、青葉通りを渡ると文化横丁がある。横丁の通りは東西 2 本あり、それぞれに文化横丁のアーチが掛かっている。北側の通りは 50 メートルほどで T 字の行き止まりとなっていて、左は袋小路、右側に曲がると横丁の本通りというべき、長さ 100 メートルほどの通りとなる。

特に北側の T 字の横丁が素晴らしい。東西約 50 メートル、南北 15 メートルほどの路地に、25 軒ほどの飲食店が軒を並べひしめいている。入口のレトロなアーチも素晴らしい。真ん中に赤い星のマーク、下段にサッポロビールのネーム入り、サッポロビールが力を入れているようである。ブンヨコからさらに南に少し行くと路地 100 選で紹介した「いろは横丁」(NO99)がある。

【写真添付】



中央：T字路地の入口
 上：T字の行き止まり
 右上：大きい通り、右：事務所



路地	面積	約	ha	路地の延長	約	100 m
のまちの成り立ち、特色等の概要		<p>大正 14 年、仙台市一番丁商店街の一角に、華やかに誕生したのが「東百軒店街」で、当時のショッピングモールである。この東百軒店街に新たに誕生したのが活動写真館「文化キネマ」である。仙台の文明開化を願って、東百軒店街はその名を新たに「文化横丁」と名称を変更、更なる賑わいを見せていった。昭和 20 年 7 月、仙台大空襲により、この周辺一帯が焼け野原と化し、死者 1100 名余りを数えた。戦後再び文化横丁を復興、当時はトタン屋根の屋台が立ち並ぶ闇市の横丁が誕生し、戦後の街を活気付けた。</p> <p>平成八年 10 月 26 日「文化横丁 50 周年記念 感謝祭」が行われ、来客者にはビール等が振る舞われた。文化横丁は「ぶんよこ」の名で親しまれ 現在も 古き良き昭和の面影を残し、訪れる人々を 懐かしい気持ちにさせている。「ぶんよこ」は国分町ができる前からある仙台の飲み屋街発祥の地でもある。</p>				

路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。